



今年度も ありがとうございました

たくさんの交流や様々な相談、心理検査、研修会などを通して、今年度もたくさんの学校・園の子供たちや先生方、関係機関の皆様と出会う機会をいただきました。また特別支援や居住地校交流に関するアンケートに御協力いただいたことで、地域の現状や必要とされる支援についても知ることができました。ありがとうございました。

本校のセンター的機能の実施状況(4月から12月分:秋田県特別支援教育課集計)は、「学校見学・体験学習等受入」、「障害理解のための授業の実施」、「知能検査等の実施」が、他校と比較して件数が多くなっております。今年度初めて導入された「特別支援学校体験研修」については、県内で唯一の実施(大曲小2回)となりました。

「個別の支援計画」や「個別の指導計画」についても、相談の際に話題に出されることが多くなりました。特に、園から小学校への引き継ぎツールとしての活用に関する相談(日の出ベビー保育園、どれみ保育園)もあり、有効的な活用の好事例であると感じています。

本校が各学校(園)のニーズに応じ充実したセンター的機能を果たせるように、校内における授業づくりと指導実践を積み重ね、自校のスキルアップと地域への発信をしていきたいと考えています。お互いの顔が見える関わりを大切にしてきたいと思っておりますので、今後ともよろしくをお願いします。





今回のテーマは、「通常の学級で手立てに悩むケースについて」

平成19年4月に学校教育法の一部が改正され、それまでの「特殊教育」が「特別支援教育」に転換されました。このことにより、特別支援学級や通級指導教室に限らず、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒も特別支援教育の対象として拡大され、全ての教職員に特別支援教育に関する理解が求められることとなりました。（中略）本県の小・中学校等では、児童生徒の減少傾向が著しい中、特別支援教育の対象となる児童生徒数は増加しており、特別支援学級も増加傾向が続いております。このことは、保護者の特別支援教育に対する理解が徐々に深まり、期待が高まってきていることの現れであると考えられます。

〔令和2年4月、秋田県総合教育センター「特別支援学級担任の手引～全校で支え合うために～」一部抜粋〕



地域の小・中学校等からの要請があった際、相談内容に多く見られるのが、通常の学級での「一斉指示の理解」や「学習の定着」に困難さがあるケースです。上記抜粋文にもあるように、特別支援教育の対象として拡大された**通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援については、今、一層の充実が求められています**。一方、担任の先生方は一律とはいかない一人一人の実態に応じた支援について、試行錯誤しているケースが少なくありません。

「一斉指示の理解が難しい」と一言で言っても、その困難さの背景は一人一人異なります。注意散漫？共同注意の問題？ワーキングメモリの問題？言語理解の問題？意欲の低下？といったように**細かい把握が必要**です。知能検査等の結果から主訴となる状態の原因とその対策を分析的に探ることもありますが、**日々の生活や学習の様子を複数の目で多角的に見て整理することで、問題の原因と支援方法の検討につなげることが**できます。「一斉指示を聞くことが難しい」という目に見える課題は同じでも、原因と対策は、一人一人全く異なるものです。そこで、多面的なアセスメントを通して、**問題の原因から、個に応じた具体的な支援方法を探る必要**があります。その子の強みに注目し、**苦手さを補う方法を生かした手立てとして**、例えば、教室の掲示を整理する？あえて動的な活動を入れて気分転換を図る？全体指示の後で個別に話す？一回に出す情報量を減らす？端的に話す？理解しやすいのは視覚情報？聴覚情報？などと、その子の取り組みやすい学習方法を探っていきます。

困難さを感じている子に対して得意なやり方を見つけて手立てを検討しますが、実はこうした支援は、**他の子にとっては、「なくても困らないけど、あると便利」という場合**もあります。クラスの子によっては、「こうすればもっと分かるんだ！」という実感につながることもあるかもしれません。



特別な支援が必要な児童生徒への支援について責任を負っているのは、あくまでも学級担任ですが、**全校体制のチームで支え、よりよい支援につなげていくことが不可欠**です。学習や集団活動等に困難を抱えていそうな幼児児童生徒の状態像をどう理解したらよいのか、また、どのような支援や配慮が必要か探りたいという要請があれば、いつでも下記へ御連絡ください。「分かる、できる」を実感して、やる気につながる授業や活動づくりのお手伝いをさせていただければと思います。



相談・見学等の希望がありましたら、御連絡ください。

秋田県立大曲支援学校

教 頭： 大沢 貴子（おおさわ たかこ） 浅沼 和子（あさぬま かずこ）
教育専門監： 本多 由香（ほんだ ゆか）
地域支援部主任： 丹波 舞子（たんば まいこ）
特別支援教育コーディネーター： 佐々木貴子（ささき たかこ） 深谷 ゆき（ふかや ゆき）
特別支援教育アドバイザー： 高橋 充（たかはし みつる）（大仙市立花館小学校内）

〒014-0072 大仙市大曲西根字下成沢 122 電話：0187-68-4123 FAX：0187-68-4122